

合が世帯の収入状況などの情報を持つことへの批判などが出ています。市としては、口座振替による納税の推進や納税意識を高めることで、安定した税収を確保していきたいと考えています。



**ゴミ袋の料金をいくらに値上げするのですか。また、値上げすることによって不法投棄が増えて生活環境が悪化するのではないのでしょうか。**



ゴミ袋大1枚40円を60円にするなど50%程度の値上げを考えています。ゴミの処理費用と収集運搬費の一部は、市が負担しています。値上げすることで、収集運搬費用をみなさんから負担していただきたいと考えています。また、不法投棄が増えないようゴミの減量化やリサイクルなどを推進していきたいと考えています。



**合併してまだ1年くらいですが、増税や使用料の値上げなどを行うのはおかしいのではないのでしょうか。市民の生活が苦しくなるばかりで、七尾から人が出ていくのではないのでしょうか。**



行財政改革プラン(案)は、行政側からの提案です。みなさんからのご意見を聞きながら実施していく予定です。また、今回のプラン(案)では、子育て支援の項目は行いません。住み続けられるまちづくりをしていきたいと考えています。



**公用車を減らせば、タイヤなどの消耗品や保険料・車検費用も削減できると思います。また、自家用車を公用車の代わりに使ってはどうか。**



公用車は、年々減らしていきます。買い替えをするときは、普通自動車から軽四自動車にしたり、ハイブリット車にしたりと経費削減に努めています。また、自家用車を代用する案は、すでに実施しています。今後、より一層自家用車の代用をしていきたいと考えています。



**企業をもっと誘致して働く場所と税収の確保をすることで、若者の定住や人口流出の歯止めができるのではないのでしょうか。**



平成14年度以降、七尾では新たな企業が来ていません。本年、4月から新たに産業政策課を作り、企業回りなどを行っています。また、誘致条例も改正して、県の条例とあわせて、補助金を増額するようにしました。しかし、立地条件などの面から結果がでていません。能越自動車道ができれば、誘致ができるのではないかと期待しています。



**合併特例債で何でもできると聞いているが、現在の合併特例債の状況はどのようなのでしょうか。**



合併特例債も、一般にいう「借金」の一つです。ただし、他の地方債(借金)とは違い、借金額の70%を国が補助してくれるので、有利といえます。しかし、合併特例債は「市の一体感をもたせるもの」や「各地域の特色をいかすもの」のようなことにしか使うことができないので、「歳入不足」を埋めるために使うことはできません。現在、特例債を使っている事業は、「駅前第二再開発事業」、「地域イントラネット整備事業」、「港ふれあいスポーツセンター建設事

業」、「市民交流センター事業」などの事業です。

## ◎議員について



**行財政改革プラン(案)に議員数や議員報酬の改革も含めるべきではないのでしょうか。**



議員定数は、法律の上限が30人です。各地の自治体で議員数の削減を行っています。議員定数については、議会が決めていますので、行政側から人数を決めることはできません。ただ、議員の方々には、平成17年度当初予算では、視察費・政務調査費などを削減して協力をしてもらっています。

説明会や今後、実施する予定の市民アンケートでいただいた様々なご意見をどの様にプランに反映するか行財政改革推進委員会、地域審議会で議論し、行財政改革プラン(案)をつくりたいと考えています。